



七州の覇

安積高校進路だより
平成30年3月12日発行
安積高校進路指導部

平成30年度入試 国公立大学合格者数

大学	AO、推薦 前期	過年度卒	総計
		AO・前期	
北海道大	3	1	4
弘前大	1		1
岩手大	1		1
東北大	17	6	23
宮城教育大	2		2
秋田大	1		1
山形大	3	1	4
福島大	10	1	11
茨城大	1		1
筑波大	3	3	6
宇都宮大	14		14
群馬大	1		1
埼玉大	3		3
千葉大	5	1	6
東京大 (文)	3	3	6
(理)	0	1	1
東京外語大	0	1	1
東京学芸大	2	1	3
東京工業大	1		1
一橋大		1	1
横浜国立大	0	1	1
新潟大	10	1	11
信州大	0	1	1
静岡大	1		1
京都大	2	3	5
宮城大	4		4
国際教養大		1	1
会津大	1		1
福島県立医大(医)	8	2	10
(看)	7		7
首都大東京	2		2
横浜市立大	3	1	4
合計	109	31	140

国公立大学の前期日程の合格発表があり、131期生の結果がまとまった。過年度卒の合格は、予備校及び本人からの情報があったもので、今後増える可能性がある。

<合格の詳細>

東北大学

文学部	3
経済学部	2
教育学部	2
理学部	1
工学部	3
医学部・保健学科	4
薬学部	2

東京大学

文科一類	1
文科三類	2

京都大学

工学部	2
-----	---



東大文系合格3 (女子2)

東大の合格者はここ数年1名か2名で推移していたが、今年度は3名になった。さらに、理系の合格が続いていたが、今年、文科一類(法学)に久しぶりに合格した。東大の発表によると、女子の合格者数は昨年より減少している中、本校では、女子2名の合格を出したことは特筆すべき点である。

東京大学文一類に合格したK君は、陸上部の長距離の選手で、10月下旬の福島県駅伝競走大会に出場、5位入賞に貢献し、東北大会出場権を得た。文科三類(文学・教育・教養)に合格したHさんは水泳部に所属し、個人自由形トリレーで東北大会に出場している。Kさんも合唱部で2年生の冬まで活動した。3人とも、学校の授業に真剣に取り組み、課外に最後まで出席し、切磋琢磨して合格を勝ち取った。



医療系学部の合格者増

福島県立医科大学医学部は、推薦で7名、一般前期で1名、看護学部で推薦で3名、一般前期で4名が合格した。医学部の一般入試前期では、県内の高校で現役女子の合格は本校のみ。推薦入試を含めた合格者は県内最多となった。看護学部の合格者も7名で、例年になく多かった。



東北大薬学部合格2

国公立大学の薬学部は合格が難しい。特に、今年度は東北大薬学部の志願者が大幅に増加した中、昨年の1名に続き、今年2名の合格となった。東北大学は、全学部で志願者が増加している。さらに、理工系の学部は、年々合格が難しくなっている。センター試験、二次試験ともに理科2科目と数学の負担が大きいうだ。早期の対策が必要とされる。

また、全般的に、センター試験でしっかり得点できないと、難関大学の突破は厳しい。